



# かけはし

〒611-0021  
京都府宇治市宇治里尻36-26  
TEL 0774-25-2500(代)  
FAX 0774-25-2353  
URL <http://www.takedahp.or.jp/>

## 循環器内科特集

### 循環器の病気について

高血圧症、脂質異常症、動脈硬化や不整脈などに加えて、生活習慣病やメタボリック症候群といった危険因子は、今や高齢者に限らず国民病として問題になっています。これらの危険因子が引き起こす疾患として、狭心症や心筋梗塞などの心疾患、閉塞性動脈硬化症、大動脈瘤、不整脈などの心臓および血管に関する疾患を診るのが循環器内科の役割です。循環器疾患だけを持つ方は少なく、いくつかの疾患を複合して持つておられる方が多いため、他の診療科とも連携が必要な分野です。かつ、疾患も複雑化しその治療は日々進化しています。循環器疾患には命に直結する病態が潜んでいることもあります。それゆえに早期発見・早期治療が必要とされます。さらに、多様な患者さんの状態に合わせた個別の医療サポートが求められます。

私が循環器医になって30年以上が経ちました。臨床医としてスタートし、一般内科と循環器内科を研修後に、アメリカで研究生生活を送り、循環器疾患の病態・治療を基礎的なレベルで解析しながら、臨床での疑問を解決できるよう研究を進めました。富山医科薬科大学(現富山大学)や滋賀医科大学などで臨床医を務めた後に、当院に着任いたしました。循環器の中でも、主に不整脈と心臓リハビリテーション(心臓リハビリ)の分野を専門として診療してまいりました。現在宇治武田病院では、月曜～土曜の週6体制で診療に応じています。

### 主な心臓病

- ・不整脈
- ・心不全
- ・虚血性心疾患
- ・弁膜症
- ・心筋症
- ・先天性心疾患
- ・心筋炎、心膜炎
- ・動脈、静脈疾患など

### 心臓リハビリの重要性

患者さんに、「薬を飲んでくださいね」と言ったら飲んでくれますが、「運動してくださいね」と言っても実行しない方が多いのが現状です。いったん、治療が終わったら(例えば心筋梗塞)、安心がゆえにややもすると病気を放置する方もいらっしゃいます。また、せっかく病状が回復されても退院後に、どのように日常生活活動を行ったら良いのかが分からず、不安な方もおられると推察します。

心臓リハビリとは、心臓病の患者さんがまず体力を回復し家庭での生活を可能とし、社会復帰を目指すために行う治療です。この心臓リハビリは、生活の質を向上させるばかりではなく、心臓病の再発防止にも有効です。対象は、心臓病のほぼ全てです。心臓リハビリは、総合的活動プログラムで、一般的に「運動療法」と呼ばれるものに加え、服薬指導や食事・禁煙などの生活指導、生活習慣の改善、メンタルケアなど多要素のアプローチも含まれます。若い方は一般に体力的な回復が早いのが特徴ですが、生活習慣を変えることが容易ではありません。一方、高齢の方は、心臓だけではなく、骨格筋を鍛えて日常生活動作の向上に努めるような体づくり(リハビリ)が必要不可欠となります。

### 心臓リハビリの主な効果

- 身体機能・運動能力の回復
- QOL(生活の質)の改善
- 再発予防・再入院の予防

No.77 令和元年 8月31日発行

武田病院グループ経営理念

- 思いやりの心

武田病院グループ基本方針

- ブリッジ・ザ・ギャップス
- 患者さんの権利の尊重
- 地球にやさしい環境づくり

宇治武田病院 基本方針

1. 安全で質の高い医療の提供のために日々研鑽し、技術と知識の習得に努めます。
2. 地域の医療機関、福祉、介護施設との連携を深め、地域医療の中核を担っていきます。
3. 患者さんとの良い信頼関係を築き、人間としての尊厳を重んじる医療を行います。
4. 患者さんを「私たちの家族」と考え、最良の結果が得られるように最善の努力を払います。
5. 環境にやさしい病院を目指します。
6. 働きやすい労働環境を創造するために、お互いを尊重する人間性豊かな医療人を目指します。
7. 仕事を通じて社会貢献できるよう努めます。



循環器内科 部長

林 秀樹 (はやし・ひでき)

- ・富山医科薬科大学(現富山大学) 内科学第二
- ・Cedars-Sinai Medical Center, Department of Medicine, Division of Cardiology
- ・滋賀医科大学 呼吸循環器内科内
- ・宇治病院 循環器内科・リハビリテーション科

### 【所属学会・認定医】

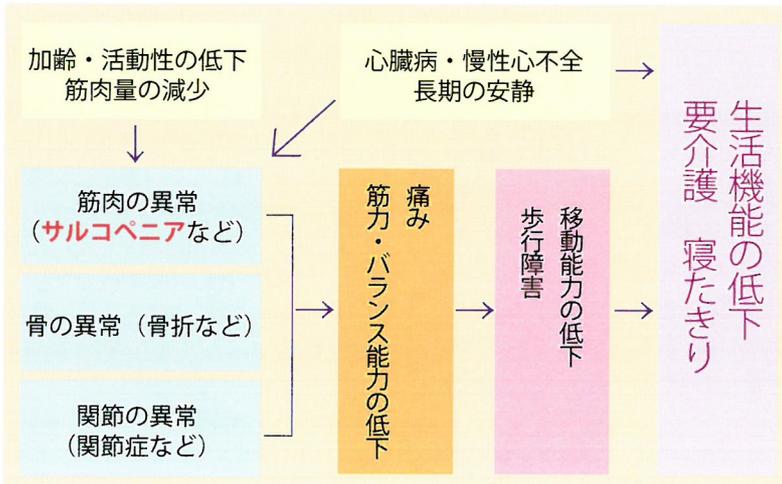
- 日本内科学会:認定内科医・指導医・総合内科専門医
- 日本循環器学会:循環器専門医
- 日本心臓リハビリテーション学会:認定専門医・上級指導医・心臓リハビリテーション認定医・心臓リハビリテーション指導医
- 日本不整脈心電学会:不整脈専門医
- 日本禁煙科学会:初級禁煙支援士

## 個々に合わせた心臓リハビリを

医師や理学療法士などのスタッフが連携し、患者さんがそれぞれの症状や体の状態に応じたリハビリを心がけています。理学療法士は、患者さんの細かい動作の現状把握、関節の動きや筋力の弱さといった考察を繰り返し、以後のトレーニングに役立つ工夫を凝らしています。ストレッチ体操や歩行練習、筋力トレーニング、トレッドミルを使用した運動は、医療スタッフの監視のもとで行います。運動中に胸痛、不整脈、心臓発作などが起こる可能性がありますので心電図をモニターで確認しながら運動を行います。



心電図、血圧を同時に測定するトレッドミル装置



## 高齢化に伴うサルコペニア

加齢や疾患により筋肉量・身体機能が低下し、日常生活に支障をきたすほどに影響を受けている状態がサルコペニアです。高齢化に伴い、今後サルコペニアは増えてくるといわれています。転倒や骨折、寝たきりなどの原因にもなるため、予防することが重要です。さまざまな原因で心臓病になり、これに増悪因子が加わって心不全が現れます。心不全の重症度によって異なりますが、運動制限が必要な場合もあるので循環器領域でもサルコペニアの問題は重要です。最近では心不全の緩和療法が行われるようになりました。患者さんがQOL(生活の質)を保てるように、軽症のうちから適切な対処をすることが大切です。

## 開業医の先生方とも連携

心臓リハビリは約20年前に始まり、その発祥の地は実は京都です。しかし、宇治地区では心臓リハビリの専門医のいる施設が当院以外にないのが現状で、医師や医療スタッフの不足は深刻です。当院でも全て治療を行ってしまうのではなく、難治性の病気などもあり、武田グループ病院や周辺の開業医の先生方とも連携をとって最適の治療を受けていただくようにしています。

## 地域医療の取り組みを

私たち医療スタッフは患者さんの悩みなどを最初から否定せず受け入れることが大切であると考えています。地域にお住まいの患者方々のお気持ちを考え、その上で最適な診療を心掛けます。時には、患者さん自身の努力が必要なこともあります。例えば、喫煙習慣などは治療や健康維持に弊害であることを理解していただくために少しずつ話し合います。また、介護のサポートなど、ご家族にも協力をさせていただくことも必要になります。患者さん、ご家族を含めた「チーム医療」での取り組みがこれからの地域医療には大切だと考えます。



平素は患者様のご紹介で大変お世話になりありがとうございます。

宇治武田病院では、本年7月より京都府地域連携パス(大腿骨近位部骨折)の計画病院に参加させていただく事となりました。対象疾患について受け入れの体制が整いましたのでご報告させていただきます。

日頃より迅速、丁寧な対応を心掛けておりますが、まだまだ不十分なところがあり、お気づきの点がございましたらご指摘ください。

今後ともより一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。